

信号機デコーダを使用した小型ジオラマの製作

JIGE

(1) 概要

お座敷レイアウトでDCCをより楽しむために、Nucky様が開発された信号機デコーダを使用して、小型のジオラマを製作しました。使用しない時はインテリアとして飾ることができます。



(2) 製作

ジオラマを埃から保護し、かつ持ち運びを容易にするために百均のコレクションケースを使用しました。信号機は0.5mm プラ板、2mm プラ棒、チップLED、極細エナメル線、パテを用いて作成しました。基盤はジオラマに設置する建物の中に納めました。Nucky様の信号機デコーダと同様にヘッダーピンを使用したRAIL接続端子を設けています。接続端子は複数設け、デージーチェーンができるようにしてあります。



(3) 使用方法・バリエーション

お座敷レイアウトを施設した後、ジオラマのカバーを取り外し、線路の傍に設置して配線を行います。後は Nucky 様の信号機デコーダと同じです。デコーダを2つ搭載した場内信号機仕様のジオラマも作成しました。こちらはポイントの傍に設置します。



(4) 現状・使用感

現在は DSbluebox の試験機能を用いて、信号機の現示を変えながら、LED の輝度調整を行っています。車両と同サイズの信号機が点灯する様はとてもリアルで、見ていて飽きません。また、同じサイズのケースを用いてジオラマを作成すると、ジオラマ同士を重ねることができ、インテリアとして飾る際、または収納する際にとても便利です。

(5) 今後・最後に

DesktopStation や CameraS88 を活用して、お座敷レイアウトで自動運転ができるようにする予定です。極力配線を少なくし、レイアウトの施設や片付けが苦にならないよう工夫していきたいと思っています。また、3 現示以外にも 4 現示や 5 現示の信号機づくりにもチャレンジしてみたいです。

最後に、DCC 普及のためにご尽力されている DCC 電子工作連合の皆様にご挨拶の意を表し、本作品の紹介を終了させていただきます。最後までお読みいただきありがとうございました。